

科目名 日常生活援助技術Ⅰ	配当時期 1年次前期	講義担当者	
時間割表記名 日常生活援助技術Ⅰ (環境)(活動・休息)	単位数 1単位 時間数 30 時間(16 回)	市場美織 高木雅弘 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 演習前には技術の動画を視聴する。 ベッドメイキングの演習前には、テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。 車椅子移乗の演習前には、テキストと動画を活用しながら、車椅子部位の名称等を含め点検内容をレポートにまとめる。			
授業目標 1. 対象における環境の意義を理解し、その調整のための技術を実践できる。 2. 人間にとっての活動および休息の機能を理解し、それぞれに関わる援助技術を実践できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	療養生活の環境 1) 人と環境 2) 療養生活と環境 3) 生活環境の調整	講義	テキスト①②資料
2	病室の環境のアセスメントと調整 1) 病室・病床の選択 2) 湿度・温度 3) 光と音 4) 病棟の構造、病床の種類、寝床に必要な条件、病床としての寝床	講義 グループ学習	テキスト①②資料
3	援助の実際 1) ベッド周囲の環境整備 2) 療養環境におけるインシデント 【環境整備】	講義 演習	テキスト①②資料
4	ベッドメイキング	講義	テキスト①②資料
5	【リネンの種類とそのたたみ方、下シーツの作り方・包布を使用した上掛けの作り方・枕カバーの装着】 【看護師 1 名でのベッドメイキング(* 技術試験)】	演習(技術)	
6	臥床患者のシーツ交換	演習(技術)	テキスト①②資料
7	【看護師 2 名での臥床患者のシーツ交換】		
8	活動の意義	講義	テキスト①②資料

	対象における姿勢・体位の意義や充足のための援助技術 1) 姿勢、動作、作業域、ボディメカニクス 2) 基本的な体位、良肢位 3) 同一体位による影響（苦痛、関節拘縮・変形、循環障害・神経麻痺、褥瘡）の予防		
9	対象における活動、移動の実際 【①水平移動②仰臥位から側臥位③仰臥位から長座位④長座位から端座位】	演習（技術）	テキスト①②資料
10	対象における活動、移動の援助技術 1) 移乗・移送の援助の基礎知識 2) 車椅子とストレッチャーの安全点検 3) 車椅子およびストレッチャーを用いた移乗・移送の援助	講義	テキスト①②資料
11 12	対象における活動、移動の実際 【①車椅子への移乗・移送、点検②ストレッチャーへの移乗・移送③スライダー（シーツ・担架）を利用した移動】	演習（技術）	テキスト①②資料 * 11 回目 45 分
13	休息の意義 睡眠と休息の援助 1) 睡眠の生理 2) サークリアンリズムとは 3) 生活リズムを整える必要性和その援助	講義	テキスト①②資料
14	技術試験（ベッドメイキング）	試験（技術）	
15	技術試験（車椅子への移乗・移送）	試験（技術）	
16	筆記試験（45 分）	試験（筆記）	
受講上の注意 ○技術が習得できるように各自で練習を行う。 ○事前・事後学習をきちんと行う。			評価方法 技術試験 筆記試験 課題
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ②看護がみえる 1 基礎看護技術 メディックメディア 参考文献 ①根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ②系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 ③看護形態機能学 第4版 日本看護協会出版会			